

AI時代の知財人材育成：「馬力」から「センス」へのパラダイムシフト

馬力 (HORSEPOWER)

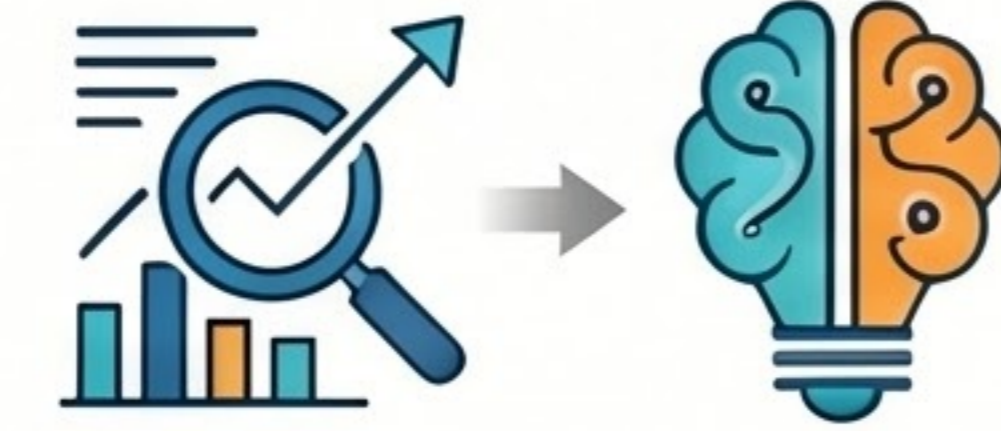
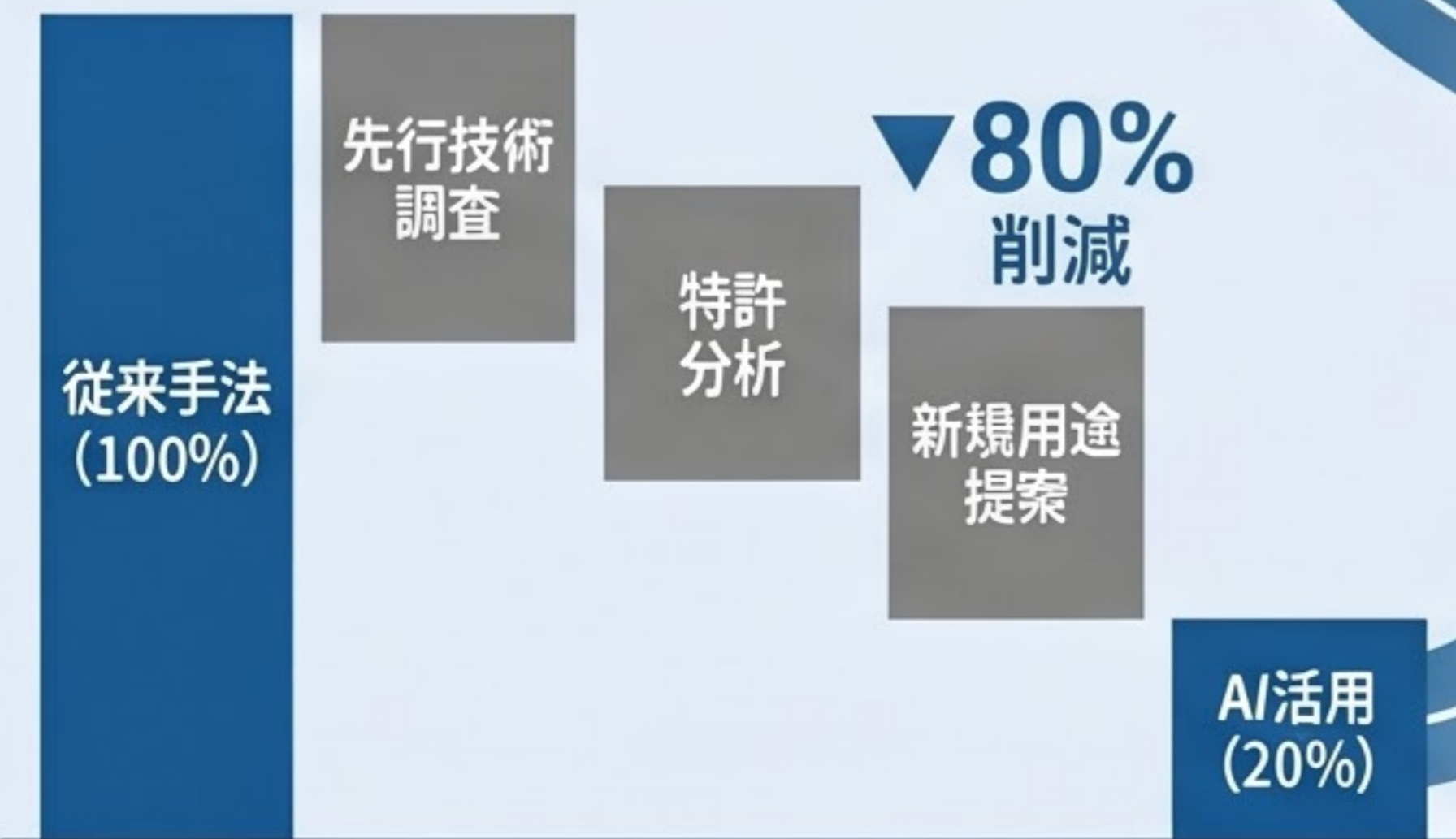


従来の知財業務：定型作業・肉体労働

80%↓

特許調査工数削減

AI導入により先行技術調査、特許分析、新規用途提案が従来の20%に圧縮



パラダイムシフト：
AIを「思考の壁打ち相手」
として使いこなす

センス (SENSE)

新しい知財人材：
高度な判断・戦略立案



「馬力」から「センス」への転換：
AI出力の評価、戦略構築能力が重要

実務フェーズ別の新・育成手法

発明発露



AIとの「思考の壁打ち」
技術構造の事林字宥、
ヒアリング設計力の向上

明細書作成

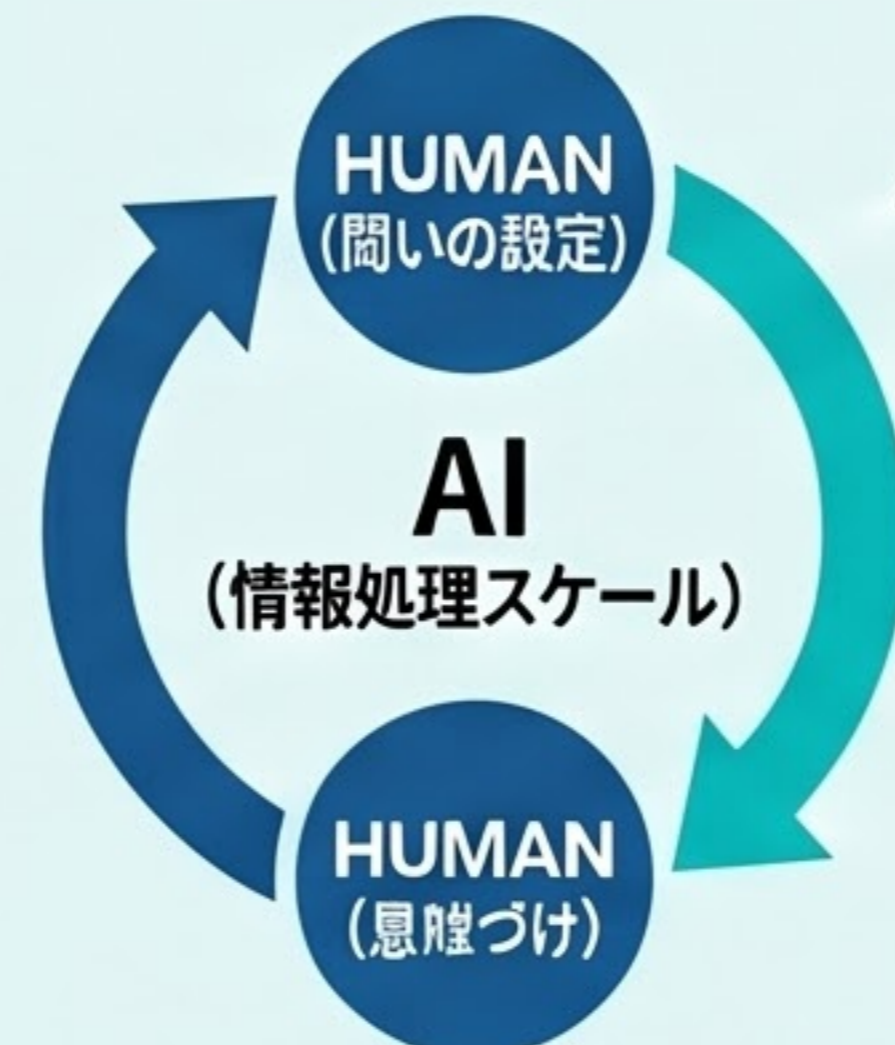


構造的思考の訓練
AIドラフトの繰返、権利範囲
最大化・侵害立証性の担保

中間処理



審査官心理の揣摩
AI比較突を盾に、審査官の
引帯意図・心理的交渉戦略
に注力



AI-in-the-Loop (人間参加型) 協働モデル

サンドイッチ構造の協働：
人間が問いを設定、AIが情報処理、人間が意味づけ

IPランドスケープの6段階フロー



知財実務におけるAIツールの適材適所
業務目的に応じたツールの使い分け

<p>ChatGPT (議理構編・データ処理) 発明論点整理、 検索式作成、可視化</p>	<p>Claude (長文面理略・目録な文章) 明証書撰製、 事業フレームワーク分析</p>
<p>NotebookLM (群志文書RAG) 自社資料・競合特許の 活躍りレビュー</p>	<p>自社資料・ 競合特許の 活躍り分析</p>
<p>Patentfield (高連AI分析・類似検索)</p>	<p>大規模企業からの スクリーニング</p>
<p>appia-engine (知制特化ドラフティング) 明証書ドラフト差違作成、 品質度上げ</p>	<p>AI Samurai ONE (審査シミュレーション) 拒絶理由通知対応案・ チャート作成</p>

リスク管理と知財倫理

<p>ハルシネーションの 徹底検証 AIは機率単語予測。 真偽 (L-PlatPat等) で 必ずファクトチェック</p>	<p>情報セキュリティの 層層化 未公開コア情報はクローズド 短論 (RAG等) で使用。 機密性に応じた使い分け徹底</p>
--	--